

学術事業報告

学発番号：学13-058

研修会名：情報システム分野 講演会

日時：平成26年2月8日(土)

場所：TKP京都四条烏丸会議室

主題1：医療情報システムにおける標準規格とIHE

講師1：山田 修 技師 (岡崎市民病院 情報管理室)

主題2：生理検査システムにおける現状と問題点

講師2：井口 健 技師 (大阪医科大学附属病院 中央検査部)

参加数：14人

報告者： 増田 健太 (京都大学医学部附属病院 検査部)

以下、講演内容など

臨床検査において標準化というとまず思い浮かぶのが、検査データの標準化ですが、いくら検査データが標準化されていても、システム間での連携がうまくできていないと、その価値は半減します。今回、医療情報における標準化をテーマとして「医療情報システムにおける標準規格とIHE」「生理検査システムにおける標準化」という2題の講演をいただきました。

オーダー端末から、部門システムがオーダーを受け、その内容を機器に送り、機器が測定した検査結果を部門システムが受け取って、オーダー端末に返す、という一連の流れは、どの施設においても実装されてきていますが、それらの連携をどのベンダー間でもスムーズに行うためのルールがIHEです。臨床検査領域においてIHEが導入されている施設は数えるほどしかなく、それを実現された岡崎市民病院の山田先生から、経験も踏まえた貴重なご講演をいただきました。

また、生理検査システムは検体検査とは異なり画像データを多く扱うため、その標準化が進んでいないという現状があります。その現状を知り、ベンダーの言いなりになってしまわないための心得を井口先生のご講演から学ぶことができました。

臨床検査領域における標準化推進のためにも、講演会を開いて啓蒙していくことの重要性を感じる有意義な研修会でした。